

# 第 110 回 神戸甲状腺研究会 プログラム

平成 30 年 9 月 8 日 (土) 15:30 ~

神甲会 隈病院 6 階大会議室

神戸市中央区下山手通 8-2-35

電話 078-371-3721

当番世話人

神戸大学 保健管理センター

大学院医学研究科 病態情報学  
馬場 久光

神戸大学 大学院医学研究科

糖尿病・内分泌内科学  
高橋 裕

共催 アボットジャパン株式会社

## I. 一般演題 (15 : 30~)

- ① 片葉摘出術後にバセドウ病を発症した 4 症例  
市立ひらかた病院 内分泌内科<sup>1)</sup> 中央検査科<sup>2)</sup>  
坂根貞樹<sup>1)</sup>、高本晋吾<sup>1)</sup>、荘野輝美<sup>1)</sup>、岩下富美恵<sup>2)</sup>
- ② Dexamethasone によるバセドウ病術前短期コントロールの後方視的検討  
隈病院  
笠原俊彦、川崎元樹、淡野宏輔、中村友彦、高坂和芳、吉岡和佳、工藤工、西原永潤、  
伊藤 充、深田修司、西川光重、中村浩淑、宮内 昭
- ③ チアマゾール長期内服後に無顆粒球症を発症したバセドウ病の 1 例  
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病内分泌内科  
永山貴恵、籀谷雄二、大久保万理江、伯田琢郎、藤本寛太、岩倉敏夫、松岡直樹
- ④ 診断に苦慮した中毒性多結節性甲状腺腫の 1 例  
隈病院  
深田修司、川崎元樹、西原永潤、淡野宏輔、中村友彦、高坂和芳、吉岡和佳、笠原俊彦、  
工藤工、伊藤充、西川光重、中村浩淑、宮内昭
- ⑤ TSH 抑制療法中に高 Ca 血症を認めた術後甲状腺癌の 1 例  
神戸市立医療センター中央市民病院 糖尿病・内分泌内科  
伯田琢郎、籀谷雄二、大久保万理江、藤本寛太、岩倉敏夫、松岡直樹
- ⑥ 小児の甲状腺濾胞性病変への対応  
隈病院  
金村信明、佐野奨、山本正利、舛岡裕雄、東山卓也、福島光浩、木原実、伊藤康弘、  
宮章博、宮内昭
- ⑦ TSH・GH 同時産生下垂体腫瘍に nonTR-RTH 合併が疑われた 1 例  
神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科<sup>1)</sup>、脳神経外科<sup>2)</sup>、  
神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学<sup>3)</sup>、隈病院<sup>4)</sup>  
合田菜穂<sup>1)</sup>、福岡秀規<sup>1)</sup>、谷口理章<sup>2)</sup>、西原永潤<sup>4)</sup>、宮内昭<sup>4)</sup>、岡田裕子<sup>1)</sup>、井口元三<sup>1)</sup>、  
小川渉<sup>3)</sup>、高橋裕<sup>3)</sup>

## II. 特別講演 (17 : 30~)

「次世代シーケンシングで解明する先天性内分泌疾患の分子基盤」

国立成育医療研究センター 分子内分泌研究部 室長

鳴海 覚志 先生